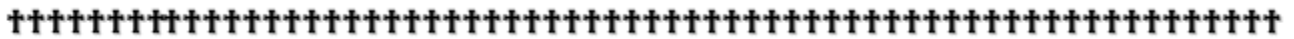




冷え込みの厳しい時期ですが、立春も過ぎ、梅の花が美しく咲いています。もう少し辛抱すれば暖かい春がやってきます。花粉症のことは抜きにすると、この季節が一番希望にあふれた季節と言えるのではないのでしょうか？



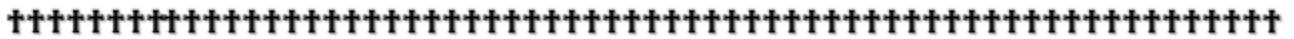
今年の聖年のテーマは「希望の巡礼者」です。普段何気なく使っている「希望」について、改めて考えてみるのもいいですね。



### 四旬節～復活祭のミサのスケジュール

- 3月 5日 (水) 7:00～ 灰の水曜日ミサ (小聖堂)  
19:00～ " (大聖堂)
- 3月 9日 (日) (主日のミサの中で) 灰の式・洗礼志願式
- 4月17日 (木) 19:00～ 主の晩餐の夕べのミサ
- 4月18日 (金) 19:00～ 主の受難の祭儀
- 4月19日 (土) 18:30～ 復活徹夜祭 (洗礼式)
- 4月20日 (日) 11:00～ 復活の主日ミサ

(※聖香油ミサは今年は伊勢崎教会で行われます)



内容【四旬節～復活祭のミサスケジュール】

【典礼部】枝の回収【総務部】駐車場【成人養成部】

【毎日のミサ購読】【2025年度信徒委員会】【巡礼の原稿募集】

【新しいホームページについて】【サモア～主によばれて(36)】

+++++  
<信徒委員会・各部からのお知らせ>  
+++++

<信徒委員会より>

<典礼部より>

\* 枝の回収をしています。受付前の箱に入れてください。(2/23 (日) まで)

<総務部より>

\* 駐車場を利用する場合は必ず駐車許可証をダッシュボードに置いてください。(小聖堂・幼稚園事務所棟前に駐車する場合も) 駐車許可証を持っていない方は、受付で届け出をしてください。**門の前のスペースは緊急車両用ですので、絶対に駐車しないでください。**

<成人養成部より>

\* 教皇フランシスコの聖年についての大勅書「希望は欺かない」を一緒に読みませんか? 第二日曜日(次回は3月9日)ミサ前(10:00~)行います。お待ちしております。

\* 「希望は欺かない」をまとめて注文します。(受付まで)

\* 四旬節の十字架の道行き: 3月16日(日) 10:00~10:45 大聖堂で行います。

※ 聖年のテーマやロゴ、パパ様のメッセージ等は1階ロビー壁面に聖年の情報ボードを設置し、そこに掲示しますので、お楽しみに。

※ 大きな恵みの年である2025年を共に信仰と希望のうちに過ごしましょう。

<毎日のミサの年間購読について>

\* 来年度分(2025年5月~2026年4月)の申し込みの受付を2月16日から始めます。

個人で購入するより、共同購入されますと、安くなります。

よろしく願いいたします。

購読係 須田

+++++  
2025年度信徒委員会  
+++++

信徒委員長/青少年養成部長	齊藤 政行
副委員長/典礼部長	石黒 智泰
書記	薄葉 智子
総務部長	酒井 美子
財務部長	関山 厚司
営繕部部長代理	菊池 輝夫
成人養成部長	河本 次郎
地区部長	齊藤 佳美
広報部長	槻田 潤子



**新部長からのご挨拶**

成人養成部の部長をさせていただくことになりました河本です。

2018年9月の堅信式でプロテスタントから改宗しましたが、コロナ過もあって、カトリック信者として未だに若葉(既に紅葉?)マークです。

どうぞよろしくお願いいたします。

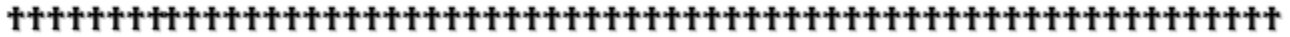
河本 次郎

## <巡礼の原稿を募集します>

今年は聖年－巡礼の年です。以前の聖年に訪れた教会の思い出や、今年訪れた教会の記録、感想等、ご自由にお書きになって投稿してください。（600字まで）手書きの物は受付に、データは以下のメールアドレスに送ってください。お待ちしております。

一階ロビーに、大宮教会の十字架の道行を制作した至門遥さんによる制作のエピソード（以前教会誌に掲載した物）のコピーを置きます。ご興味のある方はぜひお読みください。

槻田



## <ホームページを新規開設しました>

2023年12月31日に新しいホームページを開設しています。現在は旧ホームページと並行して更新している状況です。

下の2次元コードからホームページをご覧ください。ページの追加や投稿の提供など広報部までご意見ください。また、SNSも開設していますので投稿記事がありましたらあわせて広報部までお願いします。



### サイト

HOME

カトリック大宮教会について  
このホームページについて  
ミサ時間のご案内  
教会行事カレンダー  
アクセス

お知らせ

ご相談

青年の方へ

広報

おおみや教会通信

たかはな

活動

メッセージ

信仰入門

お問い合わせ

リンク



Catholic Omiya Church

カトリック大宮教会





## † サモア～主に呼ばれて (36) †

授業は毎回苦労しました。学校を卒業してもメリットがあまりないため、サモアの人たちは勉強する理由が明確ではありません。そのため、授業中の私語が多くなります。サモア人の先生の授業は静かですが、外国人の先生の授業はだいたいうるさいです。

高校を卒業しても、企業に勤められるのはほんの一握りです。大学に進学する生徒は、私がいた学校からはいません。首都に近い学校だと少しはいるようでした。授業料が払えず、途中で退学してしまう生徒も多いし、学用品が買えずノートに書くところがないという生徒もいました。それでも、学校に来られる間は来たいという気持ちが強いです。

学校に行けば、家事から解放されるというのが一番の理由です。当時は村では電化製品は電球だけという家がほとんどでした。掃除はほうき、洗濯は棒で布を叩いたり、洗濯板を使用して手で洗ったり。食事の支度は薪やココナツの殻を燃やして作ります。そのため、昼間家にいれば、村の農作業に駆り出されたり、子守りや家事をさせられたりするわけです。学校に行っている間は、そういった仕事から解放されるために来ている生徒も少なからずいると思いました。

日本と違うのは、自分たちの言語で学習ができないことも大きいです。小学校ではサモア人の先生により、サモア語で勉強ができますが、高校はほとんど外国人の先生が英語で授業をします。教員養成の機関がほとんどなく、サモア人で高校で教えられるレベルの学力のある人は海外で仕事をする選択をすることが多いのも理由の一つです。

また、12年生が終わった後に行われる試験とも関係があります。日本にも「高等学校卒業程度認定試験(大検)」がありますが、サモアにも高校卒業資格認定試験があり、高校の学習内容を理解していることを国として証明する試験があります。その試験は英語で行われるので、英語が必須です。英語ができないと他の勉強ができないことにつながってしまいます。英語がで

きる生徒は他の授業もよくできていました。日本だと国語ができなくても、数学はできるということがありますが、サモアではそうはいきません。そのため、校長先生からも英語で授業をするように言われていました。

しかし、せっかくサモアに来たので、サモア語を覚えて、村の人たちとも話ができればいいなと思っていました。若い人たちは英語が話せますが、年配の方は、やはりサモア語です。生徒の雑談もサモア語ですし、少しは理解したいと思っていました。ですので、機会があると単語を教えてもらっていました。

サモアはポリネシアにあるので、同じポリネシアにあるハワイと似た単語もあります。ハワイでは、「アロハ」ですが、サモアは「タロファ」。数字の5を意味する単語は、ポリネシアでは共通していて「リマ」という単語です。外来語由来の言葉も多く、ナイフは「ナイフィ」、スプーンは「スプニ」。ドル(\$)もタラですし、セントはセネです。

昨年サモアに行った時に、「マロ(こんにちは、のくだけた言い方)」や「オアマイオエ(元気ですか?)」、「マヌイア・ファフェタイ(元気です、ありがとう)」、「ファフェタイラバ(ありがとう)」などを思い出して、うれしかったです。外国人のことは「パラギ」と言います。

私がいた33年前は、まだ村では外国人を見かけることが少なく、歩いているだけで、子供たちから「パラギ、パラギ」とよく言われました。数十年前まで日本の子供たちが外国人を見ると「ガイジン、ガイジン」と言っていたのと同じですね。サモア人の先生が言っていた「スガ」という言葉も耳になじんでいます。子供たちが言うことを聞かない時や悪さをした時などに、「その女子」みたいなニュアンスの言い方でしょうか。女子という意味ですが、「スガ」と怒ったように言うときは、そういったニュアンスになります。

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

\* ご意見や投稿(本などの感想、特集してほしいことなど)を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

\* おおみや教会通信 3月号は3/16

発行予定、原稿締め切り 3/2

